

別表1

子育て支援員研修カリキュラム【地域保育コース】

1. 基本研修（全研修共通 8 時間）

| 研修科目 | 時間数 | 内容 | 目的 |
|-------------|-----------|---|--|
| 子供・子育て家庭の現状 | 60分 講義 | <p><子供・子育て家庭（対人援助を行う対象）に対する理解></p> <p>① 子供の育つ社会・環境 ② 子育て家庭の変容 ③ 子供の貧困及び子供の非行についての理解</p> | <p>① 子育て家庭と家庭生活を取り巻く社会的状況について理解する。 ② 家庭の意義と多様な子育て家庭のニーズと子育て支援等の現状と課題について理解する。 ③ 子育て家庭への支援について理解する。 ④ 子供の貧困や非行などの背景の概要について理解する。</p> |
| 子供家庭福祉 | 60分 講義 | <p><子育て支援制度の理解></p> <p>① 子供・子育て支援新制度の概要 ② 児童家庭福祉施設等の理解 ③ 児童家庭福祉に係る資源の理解</p> | <p>① 児童家庭福祉施策・制度の概要（子供・子育て支援新制度の概要と子育て支援員が関わる事業の枠組みと位置付け等）について理解する。 ② 児童福祉施設等と専門職の役割について理解する。 ③ 児童家庭福祉に関する地域資源の概要（地域人材確保を含む）について理解する。</p> |
| 子供の発達 | 60分 講義 | <p><子供・子育て家庭（対人援助を行う対象）に対する理解></p> <p>① 発達への理解 ② 胎児期から青年期までの発達 ③ 発達への援助 ④ 子供の遊び</p> | <p>① 子供の発達を捉える観点について理解する。 ② 子供の発達（「発達・成長の保障」、「情緒の安定」、「生命の保持」）の概要について理解する。 ③ 生涯発達の概要について理解する。 ④ 子供の発達に応じた援助の基礎について理解する。 ⑤ 「遊び」の意義と「遊び」の質について理解する。</p> |
| 保育の原理 | 60分 講義 | <p><子育て支援（対人援助）を行うための援助原理の理解></p> <p>① 子供という存在の理解 ② 情緒の安定・生命の保持 ③ 健康の保持と安全管理</p> | <p>① 発達・成長過程に応じた保育の基礎について理解する。 ② 情緒の安定と生命の保持に係る保育の基礎について理解する。 ③ 子育て支援事業における安全対策や危機管理の必要性について発達との関連を踏まえて理解する。</p> |
| 対人援助の価値と倫理 | 60分 講義 | <p><子育て支援（対人援助）を行うための援助原理の理解></p> <p>① 利用者の尊厳の遵守と利用者主体 ② 子供の最善の利益 ③ 守秘義務・個人情報の保護と苦情解決の仕組み ④ 保護者・職場内・関係機関・地域の人々との連携・協力 ⑤ 子育て支援員の役割</p> | <p>① 対人援助の価値について理解する。 ② 子供の最善の利益について理解する。 ③ 対人援助の倫理について理解する。 ④ 保護者・関係者・関係機関との連携・協力の必要性について理解する。 ⑤ 子育て支援員の役割について理解する。</p> |
| 児童虐待と社会的養護 | 60分 講義 | <p><子育て支援（対人援助）を行うための援助原理の理解></p> <p>① 児童虐待と影響 ② 虐待の発見と通告 ③ 虐待を受けた子供に見られる行動 ④ 子供の権利を守る関わり ⑤ 社会的養護の現状</p> | <p>① 児童虐待（家庭における配偶者等からの暴力（DV）を含む）とその影響（虐待を受けた子供に見られる行動など）について理解する。 ② 虐待を受けたと思われる子どもを発見した際の基本的な対応の概要について理解する。 ③ 子供の権利擁護の基本的視点について理解する。 ④ 社会的養護の意義と現状について概要を理解する。 ⑤ 社会的養護を必要とする子供や家庭の状況について理解する。</p> |

| | | | |
|-------|-----------|---|---|
| 子供の障害 | 60分 講義 | <子育て支援（対人援助）を行うための援助原理の理解> ① 障害の特性についての理解 ② 障害の特性に応じた関わり方・専門機関との連携 ③ 障害児支援等の理解 | ① 障害特性の概要について理解する。 ② 障害児支援制度の概要について理解する。 ③ 障害特性に応じた関わり方や専門機関との連携の概要について理解する。 ④ 障害児支援等の現状について理解する。 |
| 総合演習 | 60分 演習 | ① 子供・子育て家庭の現状の考察・検討 ② 子供・子育て家庭への支援と役割の考察・検討 ③ 特別な支援を必要とする家庭の考察・検討 ④ 子育て支援員に求められる資質の考察・検討 ⑤ 専門研修の選択など今後の研修に向けての考察・検討 | ① 履修した内容についての振り返りを図るためのグループ討議。 ② 子育て支援員に求められる資質についての理解の確認。 ③ 履修した内容の総括と今後の課題認識の確認。 ※内容欄のテーマをもとに、研修効果の定着を図るために上記①～③のいずれかの振り返りを行う。 |

2. 専門研修「地域保育コース」共通科目（14時間）※3分野共通

| 研修科目 | 時間数 | 内容 | 目的 |
|-----------|-----------|---|--|
| 乳幼児の生活と遊び | 60分 講義 | ① 子供の発達と生活 ② 子供の遊びと環境 ③ 人との関係と保育のねらい・内容 ④ 子供の一日の生活の流れと役割 | ① 発達・成長過程に応じた子供の生活への援助方法について理解する。 ② 発達にふさわしい子供の遊びとその環境のあり方について理解する。 ③ 子供同士の関わりあいが、発達を促すことについて理解する。 ④ 子供の一日の生活の流れの中での保育者（※）の役割について理解する。 ※【共通科目】において、保育者とは家庭的保育補助者、保育従事者及び提供会員をいう。 |
| 乳幼児の発達と心理 | 90分 講義 | ① 発達とは ② 発達時期の区分と特徴 ③ ことばとコミュニケーション ④ 自分と他者 ⑤ 手のはたらきと探索 ⑥ 移動する力 ⑦ こころと行動の発達を支える保育者の役割 | ① 0歳から3歳くらいまでの乳幼児期の発達のポイントを学び、発達に応じた遊びやその安全性について理解する。 ② 子供の発達を支える保育者の役割について理解する。 |
| 乳幼児の食事と栄養 | 60分 講義 | ① 離乳の進め方に関する最近の動向 ② 栄養バランスを考えた幼児期の食事作りのポイント ③ 食物アレルギー ④ 保育者が押さえる食育のポイント | ① 離乳の進め方に関する最近の動向について理解する。 ② 幼児期の昼食づくりに役立つ栄養バランスのポイント、食品衛生の基礎知識について理解する。 ③ 食物アレルギーについて理解する。 ④ 保育者が押さえる食育のポイントについて理解する。 |
| 小児保健 I | 60分 講義 | ① 乳幼児の健康観察のポイント ② 発育と発達について ③ 衛生管理・消毒について ④ 薬の預かりについて | ① 保育を行う上で必要となる健康管理のポイントや疾病の予防と感染防止への対応、保育中の発症への対応などの基礎知識について理解する。 ② 現場に生かせる、より具体的な対応について理解する。 |

| | | | |
|-----------------|-----------------|---|--|
| 小児保健Ⅱ | 60分 講義 | <ul style="list-style-type: none"> ① 子供に多い症例とその対応 ② 子供に多い病気（SIDS等を含む）とその対応 ※「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」「保育所における感染症対策ガイドライン」を周知する ③ 事故予防と対応 | <ul style="list-style-type: none"> ① 子供に多い症状・病気を学び、その対応について理解する。 ② 小児に多い事故を学び、その予防と対応について理解する。 ③ 異物除去法、心肺蘇生法を学び、緊急時の対応について理解する。 |
| 心肺蘇生法 | 120分 実技 | <ul style="list-style-type: none"> ① 心肺蘇生法、AED、異物除去法等 | <ul style="list-style-type: none"> ① 乳幼児を対象とした救急救命が行えるように、その技術を身に着ける。 |
| 地域保育の環境整備 | 60分 講義 | <ul style="list-style-type: none"> ① 保育環境を整える前に ② 保育に必要な環境とは ③ 環境のチェックポイント | <ul style="list-style-type: none"> ① 保育環境の整備に当たり、基本的な考え方と配慮事項について理解する。 ② 保育を行うために作られた場所ではないところを保育の場として利用する上での工夫や配慮について理解する。 ③ 保育に必要な設備・備品とその配置について、具体的事例およびチェックポイントを示し、自己点検を行えるようにする。 |
| 安全の確保とリスクマネジメント | 60分 講義 | <ul style="list-style-type: none"> ① 子供の事故 ② 子供の事故の予防・保育上の留意点 ③ 緊急時の連絡・対策・対応 ④ リスクマネジメントと賠償責任 | <ul style="list-style-type: none"> ① 保育環境上起こりうる危険について学び、事故を未然に防ぐための予防策や安全確保の留意点について理解する。 ② 万一事故が起こった場合の対応や報告について理解する。 |
| 保育者の職業倫理と配慮事項 | 90分 講義 演習 | <ul style="list-style-type: none"> ① 保育者の職業倫理 ② 保育者の自己管理 ③ 地域等との関係 ④ 保育所や様々な保育関係者との関係 ⑤ 行政との関係 ⑥ 地域型保育の保育者の役割の検討（演習） | <ul style="list-style-type: none"> ① 保育者としての職業倫理について理解する。 ② 保育者の自己管理について理解する。 ③ 地域住民との関係づくりについて理解する（家庭的保育における家庭的保育者の家族との関係にも留意する）。 ④ 保育所や様々な保育関係者との関係づくり、行政との関係などについて理解する。 ⑤ 児童虐待が疑われた場合の保育者としての対応について理解する。 |
| 特別に配慮を要する子供への対応 | 90分 講義 | <ul style="list-style-type: none"> ① 気になる行動 ② 気になる行動をする子供の行動特徴 ③ 気になる行動への対応の考え方 ④ 気になる行動の原因とその対応 ⑤ 保育者の役割 ⑥ 遊びを通して、子供の発達を促す方法 | <ul style="list-style-type: none"> ① 0～2歳の気になる行動をどのように考え、どう関わっていけばよいかを行動特徴の把握などを通して理解する。 ② 特別に配慮を要する子供への対応における保育者の役割について理解する。 ※発達の遅れが疑われる場合、保護者の思いを踏まえた上での対応の必要性について理解する（専門機関との連携を含む）。 ③ 遊びを通して、子供の発達を促す方法について理解する。 |
| グループ討議 | 90分 演習 | <ul style="list-style-type: none"> ① 討議の目的 ② 討議の原則 ③ 討議の効果 ④ 討議の進め方 ⑤ グループ討議 | <ul style="list-style-type: none"> ① 研修参加者が討議のテーマに沿って話し合うための方法やマナーについて理解する。 ② テーマについて、自分の意見を述べたり、他の参加者の意見を聞く相互作用を通して、考えをまとめ、問題点を整理し、解決方法を検討する。 ③ 今後学びたい内容あるいは助言者に質問したいことなどを、グループ内で話し合う。 ④ 研修で学んだこと等についてグループ討議を行い、理解を深める。 |

3. 専門研修「地域型保育コース」(6.5時間+2日)

| 研修科目 | 時間数 | 内容 | 目的 |
|------------------|------------------|---|--|
| 地域型保育の概要 | 60分 講義 | ① 地域型保育の事業概要 ② 地域型保育の特徴 ③ 地域型保育のリスクを回避するための課題 | ① 地域型保育の各事業の概要や位置づけについて理解する。 ② 地域型保育の特徴を学び、保育所保育との共通点、相違点について理解する。 ③ 規模の小さい地域型保育の意義及びリスクについて学び、リスクを回避するための課題について理解する。 |
| 地域型保育の保育内容 | 120分 講義 演習 | ① 地域型保育における保育内容 ② 地域型保育の1日の流れ ③ 異年齢保育 ④ 新しく子どもを受け入れる際の留意点 ⑤ 地域の社会資源の活用 ⑥ 保育の計画を記録 ⑦ 保育の体制 | ① 地域型保育における基本的な1日の流れや保育内容について理解する。 ② 少人数の異年齢児を保育する際の方法、工夫、留意事項などについて理解する。 ③ 新しく子供を受け入れる際の留意点について理解する。 ④ 計画や記録の必要性を学び、子供の育ちの見通しをもって保育することの重要性について理解する。 |
| 地域型保育の運営 | 60分 講義 | ① 設備及び運営の基準の遵守 ② 情報提供 ③ 受託までの流れ ④ 地域型保育の運営上必要な記録と報告 | ① 設備及び運営の基準の内容について理解する。 ② 情報提供の方法、受託前の利用者との面接、記録や報告の管理などについて理解する。 |
| 地域型保育における保護者への対応 | 90分 講義 演習 | ① 保護者との関わりと対応 ② 保護者への対応の基本 ③ 子育て支援における保護者への相談・助言の原則 ④ 保護者への対応 ～事例を通して考える～ | ① 保護者と協力して子供の発達を支えるとともに、保護者の子育てを支援する役割についての意義を学び、このために必要な知識と技術について理解する。 ② 地域型保育における保護者への対応において、保護者との信頼関係づくりや保護者への支援が必要な際の関わり方について、重要なポイントを学び、事例検討などを通して考え、理解する。 |
| 見学実習オリエンテーション | 60分 演習 | ① 見学実習の目的 ② 見学実習のポイントと配慮事項 | ① 見学実習を行うに当たって必要な配慮事項や見学のポイントについて理解する。 ② 見学実習でどのようなことを学びたいか、あらかじめ考える機会とする。 |
| 見学実習 | 2日 実習 | ① 1日目：保育の1日の流れを見る ② 2日目：保育の記録・計画、受付等の書類や環境構成、保護者対応の実際等について学ぶ | ① 地域型保育の現場に出向き、講義で学んだ環境整備や保育内容、安全確保など、実際に見学・観察を通して理解する。 ② 保育に取り組むに際して、具体的に参考になることについて理解する機会とする(家庭的保育は、家庭的保育者個人の自宅であり、異なる地域の環境の中でそれぞれ独自の工夫をして、保育を展開していることに留意する)。 |

4. 専門研修「一時預かり事業コース」（6時間＋2日）

| 研修科目 | 時間数 | 内容 | 目的 |
|--------------------|------------------|---|---|
| 一時預かり事業の概要 | 60分 講義 | ① 一時預かり事業とは ② 一時預かり事業の意義 ③ 一時預かり事業の特徴 ④ 一時預かり事業従事者の基本姿勢 | ① 一時預かり事業の子育て支援としての意義、継続的な保育との相違について理解する。 ② 一時預かり事業の特徴を学び、従事者として子供や保護者との関わり方における基本姿勢について理解する。 |
| 一時預かり事業の保育 | 120分 講義 演習 | ① 初めて会う子供との関係づくり ② 一人ひとりの発達に応じた生活・遊びの援助 ③ 子供が安心して過ごせる環境づくり | ① 初めて会う子供との信頼関係を形成する具体的な関わり方について理解する。 ② 一時預かり事業は子供の家庭生活の延長にあるため、一人ひとりの状態に対応し、子供が安心して過ごせるようにすることについて理解する。 ③ 子供の不安を安心に変える具体的な関わり方について理解する。 |
| 一時預かり事業の運営 | 60分 講義 | ① 一時預かり事業の業務の流れ ② 情報提供、受付、登録 ③ 記録、保護者への報告 ④ 職場倫理・チームワーク、職員間の共通理解 | ① 一時預かり事業の業務の流れについて理解する。 ② 記録や保護者への報告の記載の仕方、保護者のプライバシーの遵守、職員間の連携の必要性について理解する。 |
| 一時預かり事業における保護者への対応 | 90分 講義 演習 | ① 保護者との関わりと対応 ② 保護者への対応の基本 ③ 子育て支援における保護者への相談・助言の原則 ④ 保護者への対応～事例を通して考える～ | ① 保護者と協力して子供の発達を支えたとともに、保護者の子育てを支援する役割についての意義を学び、このために必要な知識を技術について理解する。 ② 一時預かり事業における保護者への対応において、信頼関係づくりや保護者への支援が必要な際の関わり方について、重要なポイントを学び、事例検討などを通して考え、理解する。 |
| 見学実習オリエンテーション | 30分 演習 | ① 見学実習の目的 ② 見学実習のポイントと配慮事項 | ① 見学実習を行うに当たって必要な配慮事項や見学のポイントについて理解する。 ② 見学実習でどのようなことを学びたいか、あらかじめ考える機会とする。 |
| 見学実習 | 2日 実習 | ① 1日目：保育の1日の流れを見る ② 2日目：保育の記録・計画、受付等の書類や環境構成、保護者対応の実際等について学ぶ | ① 一時預かり事業の現場に出向き、講義で学んだ環境整備や保育内容、安全確保など、実際に見学・観察を通して理解する。 ② 保育に取り組むに際して、具体的に参考になることについて理解する機会とする。 |

5. 専門研修「ファミリー・サポート・センター」（6. 5時間）

| 研修科目 | 時間数 | 内容 | 目的 |
|----------------------------|---------------|--|---|
| ファミリー・サポート・センターの概要 | 60分 講義 | ① ファミリー・サポート・センターとは ② ファミリー・サポート・センターの意義 ③ ファミリー・サポート・センターの特徴 | ① 地域における相互援助活動としてのファミリー・サポート・センターの活動の内容や意義について理解する。 |
| ファミリー・サポート・センターの援助内容 | 120分 講義・演習 | ① ファミリー・サポート・センターの援助活動における基本姿勢 ② 援助活動の流れ ③ 活動を行う上での配慮事項 ④ 発達に応じた保育内容・生活援助 | ① 保育者として子供や保護者に対する心構え、配慮しなければならない点について理解する。 ② 援助活動の流れについて理解する。 ③ 年齢や発達に応じた保育内容・生活援助をする際の方法や工夫、留意事項などについて理解する。 |
| ファミリー・サポート・センターにおける保護者への対応 | 90分 講義・演習 | ① 保護者との関わりと対応 ② 保護者への対応の基本 ③ 保護者への対応 ～事例を通して考える～ | ① 保護者と保育者が協力して子供の発達を支えるとともに、保護者の子育てを支援する役割の意義について理解し、このために必要な知識と技術について理解する。 ② 保護者との対応において、保護者との信頼関係づくりや保護者への支援が必要な際の関わり方について、重要なポイントを学び、事例検討などを通して考え、理解する。 |
| 援助活動の実際 | 120分 講義・演習 | ① 実際の活動について学ぶ | ① 先輩保育者から直接話を聞き、講義で学んだ環境整備、援助内容、安全確保などについて理解する。 ② 援助活動に取り組むに際して、具体的に参考になることについて理解する機会とする。 |